

児童養護施設ネバーランド通信

ピーターパン便り



発行責任者：小野ロー 編集責任者：宇賀神慶子

創立十周年記念

ワークショップ開催

こどもたちの心の歩み



ネバーランドの玄関を入ると、ずっしりとした板に彫られた児童憲章が目に入る。宇都宮大学名誉教授名崎英美子先生の優しく伸びやかな文字で書かれた児童憲章はネバーランドの理念である。創立以来毎年、児童憲章の前に集い全員で唱和をして討論会を行ってきた。今年は少し形式を変えて、ワークショップを行った。始めに幼児さんの大好きな手遊びをした後、「こどもの日」と「端午の節句」について考え、由来についての説明を受けた。そして、紙芝居「こいのぼりさんありがとう」を読んでもらった。続いて、つどいの部屋にて柏餅のおやつを頂いた。その後、「児童はよい環境の中で育てられる」と謳われている“よい環境”についてワークショップを行った。子ども達からは、沢山の意見が出され、活発に討論が繰り広げられた。楽しい時間を過ごすことができた。



ワークショップ こどもの日

～よい環境ってどんな環境～



生きる	育つ	守られる	参加する
毎日生活できる	勉強ができる	暴力されない	将来の夢について勉強
布団に寝れる	学校に行ける	幸せに遊べる	できる
ミートスパゲッテが 食べれる	逆上がりができる	誰も暴力せず、互いのこ とを考え助け合っていけ る	お買い物に行ける 友達が作れる
生きれる	学校頑張る		散歩に行ける
強い子になる	いろんな所に行ける	守ってもらえる	いつもみのり行った
ご飯美味しい	楽しく勉強できる	虐待されない	お泊まりが行ける
おやつが食べれる	プレゼントがもらえ る	ちゃんと担当がいる	皆と遊べる
かつ丼が食える		お金がたくさんある	皆ではしゃぎまわれる
洋服を買ってもら える	クリスマスプレゼン トがもらえる	誕生日をやってもらえる	色々な生活ができる
お風呂に入れる	キャッチボールがで きる	皆と一緒に生活できる	自分が決めたことは頑 張る
人間生活ができる	百点がとれる	毎日笑顔で入れる	好きなことができる
	ひまわりの種を持っ ている	帰る場所がある	生きものを育てる
	走れる	人と助け合って生活 できる	楽しく過ごせる
	掃除ができる	安心して暮らせる	虫を捕まえに行ける
	サッカーができる	生活に不自由がない	自転車いつも乗れる
	ケンカができる人が いる		将来の夢を考えること ができる
	皆と遊べる		自分がいいことお いゆ
	おだんごつくた		高校で勉強が出来て、 夢に向かって頑張れる
			自分の気持ちを素直に 話せる相手がいる



- ①自分の思っている「良い環境」について書いてもらいました。沢山出されました。
- ②各自、皆の前で読み上げてホワイトボードに貼りました。
- ③子どもの権利条約にある4つの権利の視点で分けてみました。
- ④10年前は、「布団で寝られる」「虐待されない」「暴力されない」「三回ご飯が食べれる」「学校に行ける」「お風呂に入れる」「布団がある」「トイレがある」「病気するとき、病院に連れて行ってもらえる」が出されました。まさに「生きる」権利についての意見が圧倒的でしたが、現在は「守られる」権利や「育つ」権利、「参加する」権利についての意見が多くなりました。とりわけ、子どもの権利条約第12条の意見表明権に関する意見が多く出されました。こども会議の成果が感じられるところ
です。

こどもの日 バイキング

給食会議（4/18）にて…



「こどもの日のメニューはどうしますか？」
「しばらくバイキングやってませんね」
「寿司が続いてますが、子どもらがいちばん喜ぶので握りを入れますか」
「こいのぼりも泳がせたらどうでしょうかね」



ネパールでは、行事の際の食事にバイキング形式を取り入れています。

これは、子どもにとって自己選択、自己決定、自己責任を学ぶ良い機会となっています。はじめの頃は、自分の好きなもの（デザート、おにぎりなど）だけをお皿山盛りにしていた子どもたちも、食育活動の中で三色キッズ（三大栄養素）を学んだり、以前のバイキングの際にお肉を食べすぎて気持ち悪くなってしまった経験、ドレッシングをかけすぎて食べられなかった反省を通し、バランスよく食べられるようになってきました。

「食」は、こころの安定や自分の意思を表現する意味で、とても大切なものだと考えています。バイキング給食を通し、多様な食体験の機会をこれからも提供していこうと考えています。



たくさんのご寄付・ご寄贈ありがとうございました。

《個人》

宇賀神浩人 岡崎静子 荻原明信 荻原志美 小山仁子 加藤雅子 倉谷昌良 斎藤雅世 城生利一 城生ナツイ
関口照子 高内昌之 富塚綾子 豊田哲夫 福田幸子 安本ヨシイ 安本亮太 山崎久子 吉田美千代 和知知明

《団体》

(株)喜今日 (有)マーサーズ E.v.o.l 男の台所 カーブス鹿沼 鹿沼市更生保護女性会
鹿沼東ロータリークラブ 光明寺 小太刀重機 篠崎工業 大地の詩上映実行委員会 てるてる坊主の会
野沢米店 プレナス ライン鹿沼 ワンダーランド鹿沼店 匿名2名

*平成24年11月1日から平成25年5月5日までの方です。五十音順・敬称は略させていただきます。



いつもおいしいおかしをくれてありがとうございました。

わたしのすんでいるところでは魚つりがはやっています。こないだは、川でドジョウ2匹、めだか3匹、カニ2匹をとりました。カニは、にらみあって、おすもうしたらいいなと思います。

おかしは魚つりでつかれたら食べます。

ありがとうございました。

* I F *

編集後記

薫風さわやかな季節にピーターパン通信第2号が発行され、ほっとしています。今回は「こどもの日」を特集としてみました。十年間の子どもたちの心の成長の著しさに感動しています。

ワーカーはなかなか自分の枠からはみ出すことが出来ず悶々としておりますが、子どもたちは実に伸びやかに解放されております。今後も、子どもたちから学び、自分を解放できるよう精進したいと思います。(拓也)

ある程度枠にはまらなくてはと思いつつ心はいつも放浪の旅(正人)

人から見ると自由奔放に見えますが、今回も徹夜徹夜のがんじ絡めでした(民代)

匿名で多額のご寄付を頂戴いたしました。6月29日にディズニーランドに行ってまいります。子どもたちも楽しみにしております。心より御礼申し上げます。

発行元

社会福祉法人仁篤会 児童養護施設ネバーランド

〒322-0523 栃木県鹿沼市下奈良部町1-81

TEL : 0289-71-1103

FAX : 0289-75-5363

e-mail : ccw-neve@one.bc9.jp